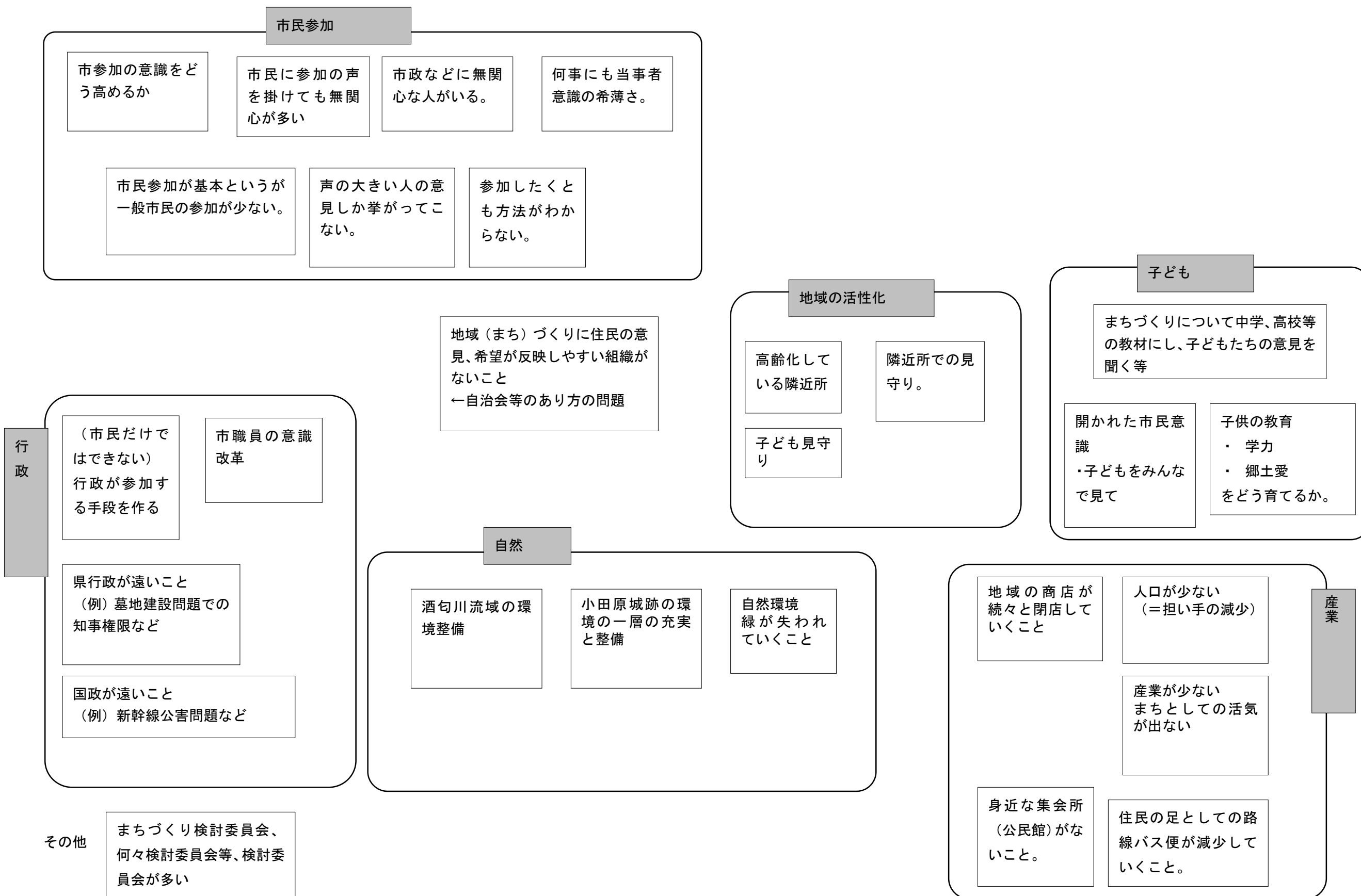
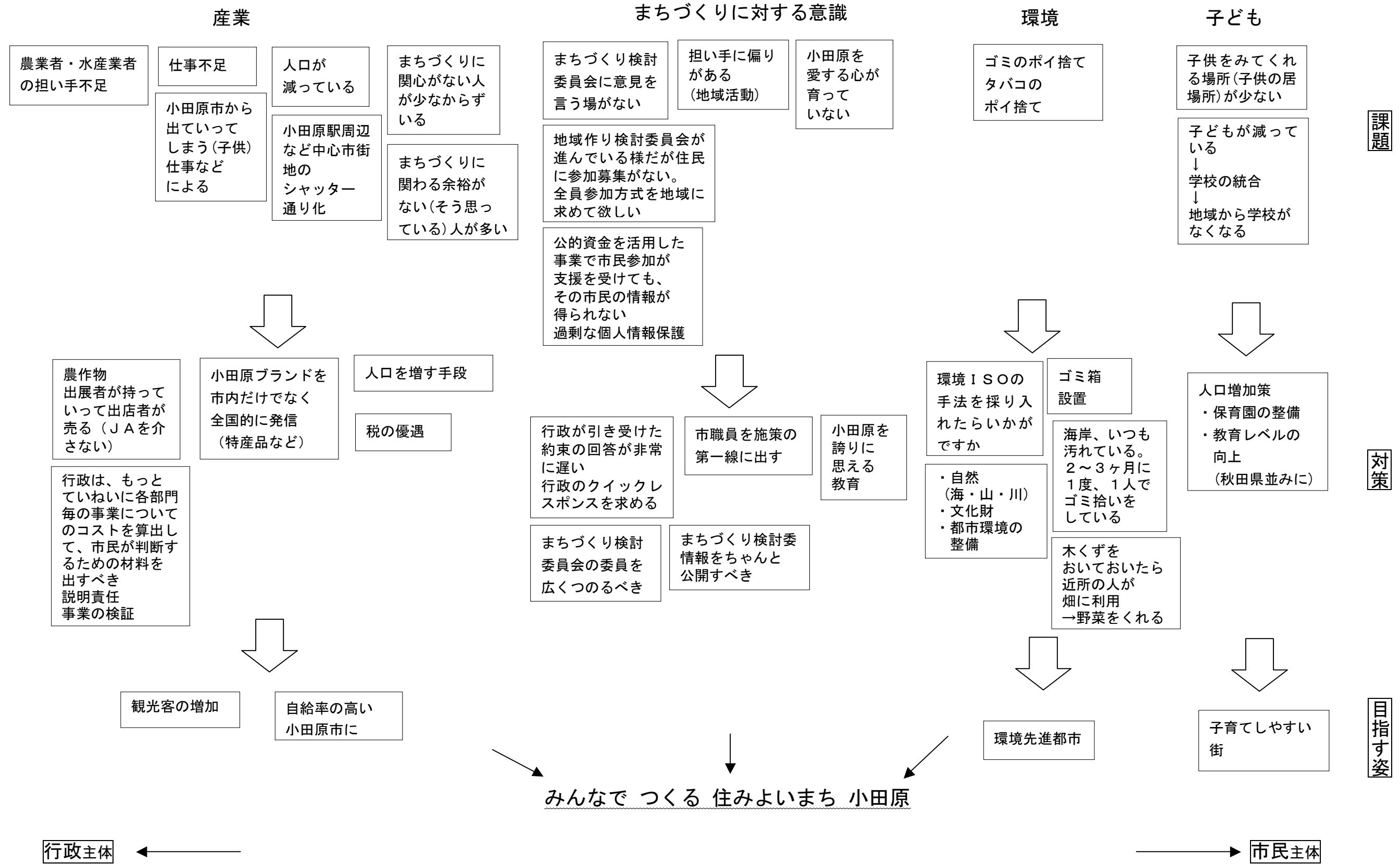


第2回オープンスクエア（平成9月27日）  
1班（5人）







近くの娯楽施設で夜中に大声を上げている人がいる。小さい子どもの声もする（夜中なのに・・・）

中高生の「たむろ」におまわりさんをおまわりさんと呼ぶのじゃなく自分達で叱ってあげたい。

自治会でご近所で解決できそう

地域のつながりをどう生み出すか？

自治会役員の若返り（団塊世代を入れて）

草の放置

近所の水路に（人家がない）ゴミが捨てられ放置されている。

用水路の水量の管理保管

自治会の会議や行事は「例年通り」ばかり

宅地化の進んでいる所では、自治会が旧住民中心で動いている。（地域で顔見知りには旧住民同士だけ）

街の新住民を街づくり、自治会活動に引き込んでゆくには？

車の運転者  
自転車 相方の思いやり走行

町の文化活動への学校の協力（町並み再発見展への参加など）

街灯  
・（電気）の暗い所（酒匂川の散歩道）  
・トイレもほしい  
・椅子もほしい

家族による高齢者の自宅介護の限界  
↓  
含 老人介護

地域の同じ立場の方で話し合える場を設ける

自転車のマナーの徹底

小田原市内の駐車場。市民は安くならないのか。

自転車マナー  
↑  
↓  
ルールの徹底

子ども、若者の活躍の場

環境  
栢山の用水路にザリガニがいなくなった。

スチロールゴミの回収を増やせないか

業者（パックの工夫）

自転車歩道の整備

街づくりは、  
つながり作りから

第2回オープンスクエア（平成21年9月27日）

4班 5人



リ ー ダ ー	人 材	地 域 団 体 考 え 方	情報ネットワーク	運 営
自己顕示欲の強い人がいる。 積極的は良いが自己満足的である。	自治会・PTAの <u>人材不足</u>	TRYフォーラムを傍聴しての感想 <u>受益者感覚、消費者感覚</u> が主流での 「小田原」評価だった	会議の日程、時間を決めるとき「働いて いる時間」だからと土日を希望する 人がある。土曜日はボランティア活動 で埋まっている。日曜日は家族サービ ス。	自治会の意思決定、運営方針が不安定
何か新しいことを始めた場合に、既に あったこと、 <u>先人の苦労を無視</u> してい る傾向にある。	自治会役員の <u>女性不足</u>	<u>労力を惜しむ</u> 。面倒くさくてやらない 等。ごみの分別や減量化	市民の意見交換の場としてネットの活 用はできないか。	同じような失敗を繰り返している。
「 <u>イニシアチブをとるのは誰か</u> 」とい うことを問いかける人がいる。	無関心層の比率が高い。	<u>ささいなルール無視</u>	地域で情報共有が難しい。	地域住民の希望が掴めない。 サイレントマジョリティ
自治会役員をやっていることを「 <u>生 きがい</u> 」として役員をやめない。	結論をすぐに求めようとする人がい る。	この頃回りの方が意識がおかしくなっ ていて	団体に籍を置いても一同に会うこと が困難。	特定の <u>一部の</u> 人に仕事が集中してい る。
	自助、共助、公助、という場合「助力」 を受けたい原因を行政の力のなさに求 めすぎている傾向がある。 依頼心、依存心が高い。	マナーの低下		人口の変遷の予測をしたうえで、 <u>ニ ーズを分析</u> して考え、優先順位を決める 必要がある。
	<u>任期制限</u> を設けることで後継者の育 成のシステムを構築する必要がある。	大人の社会的モラルが悪い。人間再教 育が小田原を作る最大の鍵。観光都市 のおもてなしの心		
		「公共空間の空白化」論が出ていたが、 公共空間の私物化をしていた商店街の 人達の自覚がもっと進むと良い。		

行 政 と 市 民	
ハ ー ド	ソ フ ト
公共施設の駐車場整備の充実 利用度を高めるため。	行政職員のスリム化。民営できるもの は帰るべき。
歩いて回れる商店街の活性化について 考えたい	お年寄りへの市からの通知がわかりに くい。もっとわかりやすくすべき。
市内に <u>無料駐車場</u> があるとありがた い。（医者に行くことが多いので。）	市役所の縦割りを廃止。
大型施設の利用状況（土壌や水質に関 する影響評価）を情報として得ることは できないか。	学童保育の指導者の教育の徹底化 子供の善悪、行儀、人としての教育 をすべし。
小田原に居住し、都市に働きにでる者 の関心を高めるための方策を講じる。 （駅活用）	エコマップを作成してはどうか。 ポストを設置して空缶ゴミ要注意地帯 を指摘しやすくする。
道路の横断歩道の白線を住民で塗るこ とはできないか。	
図書館の整備 特に星崎記念館	
水路の管理について（コンクリートの 老朽化の対応方法）	
土の流れなど人の手の届かないところ への管理の状況を知りたい。	
<u>障害者にやさしいまちづくり</u> （スロープがないところ多く参加困難）	
<u>緑の多い駅前再生</u>	

そ の 他	
条例制限	子供の健全育成の為、子供会の活性化 の指導、親の教育が大切。まず挨拶を。
<u>個人情報保護法の解釈</u>	躰教育
小田原市だけでも電磁波の条例	農業に従事する人達と他の職業の人達 と交流が少ないのではないか。